



新設するバス停

- 東西線**
 - 協立病院前
- 西坂線**
 - 湯殿公会堂前
- 紫水ヶ丘公園線**
 - 協立診療所前
 - 西町(I・Tビル前)
 - アイタウン二番街



バス停名称が変わります

十倉(黒谷工芸の里前)	→	十倉(黒谷和紙工芸の里前)
武道館前	→	バザールタウン前
青野町西青野	→	青野(サクラティエ前)
大本本部前	→	大本神苑前
高津西(協立病院前)	→	高津西



平成17年4月から運行を開始し「あやバス」の愛称で親しまれているあやべ市民バス。毎年20万人以上の利用があります。市はより利便性を高めるため、平成30年4月に運賃規程とダイヤを改正。高齢者と子育て世代に優しい制度を導入します。

健康長寿定期券が65歳から利用可能に

1か月3,000円で全線乗り放題の「健康長寿定期券」。これまで70歳以上が対象でしたが、来年度から「健康長寿定期65」としてリニューアル。65歳以上に対象を拡大します。市はこれに合わせて、4月に同定期券を購入すると1か月分が半額になるキャンペーンを実施。定期券は、市民協働課とあやべ観光案内所、大町バスターミナル(上林いきいきセンター)で購入できます。また、子育て支援として、4月から運賃無料の対象年齢を、3歳未満から未就学児に拡大。大人1人につき3人まで無料になります。

**健康長寿定期65
おためしキャンペーン**

キャンペーン期間中は1か月分が半額！
通常よりも1,500円安く購入できます。

対象 65歳以上の人
期間 4月1日(日)
～4月30日(月・振)

期間中の購入価格
1か月分購入の場合
3,000円 → 1,500円
2か月分購入の場合
6,000円 → 4,500円

※利用開始日の1週間前から購入できます。
※2か月分以上購入する場合は、1か月分のみが半額の対象です。

この機会にお得で便利な健康長寿定期券を購入し、あやバスに乗ってみませんか！

**新規乗り入れで
アクセス向上**

「東西線」は、新たに京都協立病院(高津町)の施設内に乗り入れ。また「西坂線」は小貝バス停・私市バス停間



に「湯殿公会堂前」バス停を新設し、旧道を運行します。図1。さらに「紫水ヶ丘・京綾部ホテル線」は全便、ホテルの経由をやめ、「紫水ヶ丘公園線」に改称。JR綾部駅南口から本町通りを經由して、市立病院前まで延伸します。図2。

このほかにも、利用状況や交通状況に合わせて便数やダイヤを改正します。詳しくは、3月に自治会を通じて全戸配布する、新しい時刻表が市ホームページ上(http://www.city.ayabe.lg.jp/ayabus/unchn/jikokuhyo/index.html)をご覧ください。

“あやべ特別市民”で

応援の輪を広げよう

平成30年度
会員募集

綾部と綾部にゆかりのある人をより深く結び付ける「あやべ特別市民制度」。今年で20年目を迎えます。当初約650人だった会員は2,000人を超えるまでになり、会員に特典としてお届けする特産品を生産する人たちの励みにもなっています。あなたも知り合いなどに制度を紹介し、応援の輪を広げませんか。

年会費

1万円

(振込用紙で全国の郵便局、金融機関から支払いできます)

会員期間

平成30年4月1日

～平成31年3月31日

特典1

綾部の特産品を送付

年3回

特典2

市内飲食店の割引券・市内施設の利用券を送付

特典3

綾部の旬の話題をお届け
会報「ニュースレター」、市広報紙「ねっと」、メールマガジン

特典4

ふるさとカレンダーを送付

生産者の声

地域の活性化につなげようと、集落の特産品

として、黒ウリの粕漬を生産。全員一丸となり、黒ウリを種から栽培しています。手間は掛かりますが、皆さんの「美味しい」の一言が励みになっています。

特別市民は、綾部の情報や特産品に触れ、身近に感じてもらえることが魅力ではないでしょうか。もっと多くの人に広がればと思います。



水源の里 瀬尾谷 磯井 進さん(八津合町)



郷土色豊かな特産品が好評

贈り物にふるさとの味を

本制度は、どなたでも入会できます。また、会費は紹介者が負担することも可能。贈り物や仕送りとしても活用されています。

申し込み・問い合わせ 秘書広報課 ☎0773(42)4204

善聞 語録

96



“3”という数字

3たび綾部市政の負託をいただいた。その重責をひしひしと感じながらも、「3」という数字が世間ではどんな意味で使われているのか思いを巡らせてみた。例えば「三つ子の魂……」「石の上にも三年」「早起きは三文の得」など概ね肯定的な意味で用いられる場合が多い。これは3角形や三脚の形状が安定的であることや、この世が縦・横・高さの「3次元」で構成されているという事実、或いは三々九度や七五三など慶事でも使われ、「満つ」という語呂にも通じる所以であろうか。カップラーメンの

多くも3分間待つて賞味できるようになる。

一方、野球では空振り3回でアウト、そしてアウト3つで攻守チェンジと規定している。プロレスも3カウントのフォールで勝敗が決まる。確かウルトラマンも地球での活躍は変身から3分経つとカラータイマーが点滅し警報音を発した。中締め定番「三本締」にもあるように、3という数字は一つの区切りのメッセージにも含まれているのか。更に拡大解釈するならば、三段跳びの「ホップ・ステップ・ジャンプ」の如く、3にはこれまでに培った経験とネットワークを生かして集大成を具現化することが期待されているとも。いずれにしても、世を俯瞰する「鳥の眼」、地に足の着いた「虫の眼」、更に水の流れを読む「魚の眼」の3つの眼をもって3期目の善政に邁進したい。

山崎善也(綾部市長)



黒谷和紙の映像がグランプリに

黒谷和紙のプロモーションビデオが「全国地域映像コンクール」でグランプリを受賞。山崎善也市長が1月15日、市役所で黒谷和紙協同組合の林伸次理事長と映像制作をしたエフエムあやべの井関悟社長から受賞報告を受けました＝写真。

審査員から「後世に伝統技術を伝える貴重な映像」と評価された同ビデオ。図書館などでの貸し出しのほか、コンテスト主催者のホームページ (<http://www.digital-museum.gr.jp/contest/>) で見られます。

新年パーティーで 異文化交流

綾部国際交流協会（石田栄代表）の新年パーティーが1月21日、宮代町の宮代コミュニティセンターで開催されました。綾部市近郊に住むベトナムやフィリピン、中国、アメリカなどの外国人と国際交流に関心のある市民ら約90人が参加。それぞれが母国の踊りや歌、民族衣装のファッションショーなどを披露。交流を深めました。



あやべ ベトナム ミックス



綾部のお米 最高金賞に輝く

府内産米のブランド力向上などを目的に今年初めて行われた、府主催の「京のプレミアム米コンテスト」で、JA京都にのくに良食味米研究会の株式会社アグリテックいかる（横山侃代表取締役＝写真中央）が最高金賞を受賞しました。2月6日、市役所で山崎善也市長に受賞を報告。横山さんは「綾部全体の米作りのレベル向上に尽力したい」と抱負を述べました。

綾部の恵みをいただきます

農や食に関心を持つきっかけづくりとして、給食に市内産の野菜を使う「あじわいランチの日」。学校給食を実施する市内の小・中学校で1月18日、本年度4回目の取り組みを実施しました。この日のメニューは、「ダイコンのカレー煮」。近所に暮らす生産者の紹介を受けた児童らは、感謝しながら地元の野菜を味わいました。（写真は八津合町の上林小・中一貫校で）

